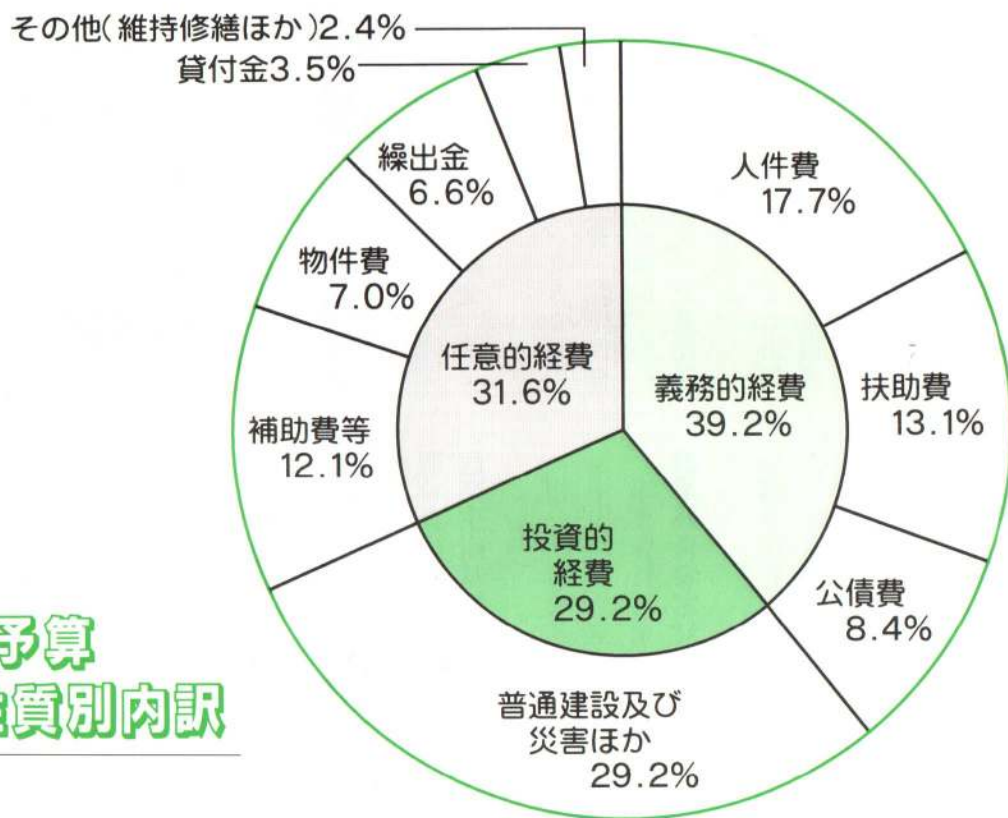


館建設事業や、芝谷地・長走風穴の整備活用事業などにあてられるもので、前年度に比べて約九億三千万円もの伸びを示しています。逆に、前年度対比で約七億二千万円の減少となったのが衛生費。これには、ごみ・し尿処理といった環境衛生業務を今年度から大館周辺広域市町村圏組合へ移管したことが大きく作用しています。

今年度の歳出を性質別に見ると、人件費、扶助費（児童手当制度や福祉医療制度などをまかなうためのお金）、公債費（市債を償還するためのお金）といった義務的経費が歳出全体の三九・二%を占めています。

道路や公共施設の建設、災害の復旧などに費やされる投資的経費の割合は、歳出全体の二九・二%にあたります。このうち、普通建設事業の市単独財源によるものは前年度対比で約九億六千万円減少しています。しかし、国や県からの補助財源によるものが逆に約十一億三千万円強の増加となったため、全体的には一億七千万円あまりの伸びを示す結果となりました。



## 一般会計当初予算 歳出の性質別内訳

### 特別・企業会計予算 (対前年度当初比較増減)

特別会計	当初予算額(千円)	対前年度増減(%)	事業名	金額	増減率
国民健康保険	4,925,473	5.8	農業集落排水	730,539	▲ 0.2
老人保健	7,024,927	16.5	公営駐車場	49,969	30.2
温泉開発	20,309	78.5	急患センター	75,342	1.8
奨学資金	32,828	11.0	財産区	29,494	27.6
卸売市場	26,137	1.5	合計	15,913,852	5.7
土地取得	3,939	▲ 99.3	企業会計	当初予算額(千円)	対前年度増減(%)
都市計画	1,294,362	12.9	病院事業	7,645,682	3.7
下水道	1,700,533	0.3	水道事業	2,245,918	32.2
			合計	9,891,600	9.0